

交通問題特別委員会

日 時：平成16年9月28日（火）

交 通 問 題 特 別 委 員 会 会 議 録			
平成16年9月28日		開 会	午後5時05分
		閉 会	午後5時21分
出席者	委員	東 條 恵美子 △阿 部 善 博 長 友 克 洋 ○米 山 定 克 菅 野 通 子 関 山 由紀江 岸 浪 孝 志 川 田 基 晶 佐 藤 賢 司 細 谷 達 司	
	議員	な し	
欠席者		岩 上 容 子	
説明のため出席者		な し	
事務局職員		佐藤議事調査課議事班主幹 松浦同課同班主査 和田同課調査班主任	

--	--

会議に付した事件	新交通システムを含む市内交通網の整備について
傍聴者	なし
署名	委員長 副委員長

午後5時05分 開会

○米山委員長 ただいまから交通問題特別委員会を開会する。

出席委員は10名で定足数に達している。

本日、岩上容子委員より欠席の旨通告があったので報告する。

お諮りする。本日の委員会傍聴を許可することに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○米山委員長 異議ないので、これを許可する。

これより審査に入る。

—————◇○○◇—————

新交通システムを含む市内交通網の整備について

○米山委員長 新交通システムを含む市内交通網の整備についてを議題とする。

前回合意された市内のバス運行に関する神奈中本社訪問について、9月2日に正副委員長で訪問したので、その報告をする。

お手元の報告書について、事務局から朗読させる。

○松浦議事調査課主査 委員長の指示に基づき、朗読する。

交通問題特別委員会正副委員長の神奈川中央交通本社訪問について（報告）

1、日時 平成16年9月2日（木）

2、場所 神奈川中央交通株式会社本社（平塚市）

3、出席者 委員、米山委員長、阿部副委員長 神奈中、小早川運輸部次長、泉同部計画課申請係長 事務局、佐藤議事調査課議事班主幹、松浦同班主査 市、大貫都市交通計画課主幹、橘田同課バス交通対策チーム主事

4、経過 委員長が交通問題特別委員会としての訪問のいきさつを述べ、相模原市でのバス運行に関する状況を聞いた。委員からの要望、神奈中からの発言の要旨は次のとおり。（○は委員、●は神奈中）

○路線の再編により、従来乗り継ぎなしで目的地に到着できていたものが、路線短縮のため、乗り換えによる不便が生じている。運賃については、

それぞれの路線で支払うことにより、以前に比べ負担増が生じているため、乗り継ぎ制度の導入を要望する。交通各社間のＩＣカード共通化も検討されているようだが、神奈中としてもＩＣカードによる乗り継ぎも含めて各社の一斉導入に間に合うよう、対応願いたい。

●乗り継ぎについては、平成１８年のＩＣカード導入にあわせてシステム導入を検討している。これによる各社共通化への対応が遅れることはない。要望された件については、乗り継ぎ者の判定方法に課題があるもののＩＣカード導入前に一部について実施できないか、検討している。

○携帯電話やパソコン、あるいは市の情報端末などからバスの運行状況がわかるバスロケーションシステムの早期導入を要望する。

●バスの運行については、定時運行が第一と考えている。しかし、駅周辺の混雑などで遅れが生じ、そのことが利用者からの運行情報提供の要求となっている。要望については、厚木市で同様のシステム導入を準備しており（別添資料）、相模原を含め他の地域でも導入が図れるような汎用性の高いシステムを目指して開発を行っているところである。導入には、経費がかかるので、市や国からの補助をいただき、順次行っていきたいと考えている。発展的には、携帯電話へのバス到着情報の配信や、幼稚園や施設の送迎バスの情報をシステムの中に組み込むようなことも可能である。

○コミュニティバスの導入について意見を求める。

●導入にあたっては、目的がはっきりしているべきと考える。（例えば病院のない地区であるなど）現状では特に出ていないが、不便地区の改称を目的として定額（１００円等）で導入した場合、他地区から既存路線との料金の相違で不満が出るのではないかと懸念がある。また、計画時に複数地区での導入を計画していかながら、試行の１地区への導入のみで他地区への導入が遅れるケースもあるようだ。近隣市での導入が盛んだが、乗降客が少なく今後の対応に苦慮している市もあると聞いている。

その他に、市が交通施策について市民アンケートを行っているが、項目が広範囲でバスに特化することも難しいので、事業者としてもアンケート調査を行い、利用者の希望に対応してほしい旨、あわせて要望した。また、料金の定額制や鉄道からの連絡運行についても状況を聞いた。

以上である。

○米山委員長 ただいまの報告に関して、発言はないか。

○関山委員 1 ページ目の最初の質問に対する答えで、乗り継ぎについては、ＩＣカード導入前に一部について実施できないか、検討しているということだが、この一部というのはどういう意味なのか。

○米山委員長 この部分では、特に上大島の件がかなり大きくクローズアップされていたので、ＩＣカードを導入する前に何らかの方法で検討したいということだった。

○関山委員 市営住宅のそばという意味か。

○米山委員長 上大島から上溝、市役所、相模原駅のルートが立ち切れているので、その部分を前にということである。

○関山委員 神奈中としては特定のイメージがあるのか。

○米山委員長 神奈中としてはあった。

○菅野委員 これは、この前言っていた部分のことなのか。

○米山委員長 そうである。

○菅野委員 それは検討しているのか。

○米山委員長 検討していると言っていた。１８年の前に何らかの方法でカードを出すとか、検討をするという話をしていた。

○菅野委員 では、それを期待する。

○長友（克）委員 最後のところで、料金の定額制や鉄道からの連絡運行についても状況を聞いたということだが、こちらから質問したということなのか。

○米山委員長 そうである。

○長友（克）委員 もう少し具体的中身がわかれば伺いたい。

○米山委員長 市営バスではないが、定額制はどうなのかということと、あと、横浜線が相模原駅に着いてバスに乗る場合に時間差があったので、連絡性はどうか伺った。神奈中としては努力しているということと、横浜方面に合わせるのか、八王子方面に合わせるのか、非常に苦労しているが、現状ではなかなかうまくいかないという話をされていた。

○東條委員 コミュニティバスの導入についてだが、これは神奈中が

意見を言ったということなのか。

○米山委員 そうである。

○東條委員 上の方は、神奈中とコミュニティバスとの関係の中で、既存路線との料金の相違で不満が出るという懸念があるということはわかるが、その下については、他市の状況を神奈中が見ていて、こういうこともあるというふうに状況を説明してくれたと理解すればいいのか。

○米山委員長 そうである。町田市でやっていたので、私どもで町田市の状況はどうなのかと伺ったところ、この報告のとおり、赤字だと言っていた。それは参考の意見として聞いた。

○川田委員 このコミュニティバスについての答えでは、どうもやる気がないのではないかという気を受けるが、その辺の感触はどうだったのか。

○阿部副委員長 ここでは神奈中と意見交換という形で、業務委託をしたかどうかとか、状況はどうかと伺ったところ、業者としてはお金をもらえればそれでいいというところはあるが、そうではなくて、やる以上、愛されて、うまくいって、継続する事業になってほしい。コミュニティバスとどこでも出ているが、状況としては、こういうように深く考えなければいけないところがたくさんあり、しっかり詰めてやってもらいたいということだった。

○菅野委員 まだ神奈中に頼むかどうかというところははっきりしていないので、そこのところは神奈中として言い過ぎではないかという気がちょっとする。そこは検討して、ぜひ相模原市は相模原方式でやろうというふうにしていきたい。

○米山委員長 相模原市としては、そこは全然変わっていない。とりあえず神奈中の意見を聞いたというだけである。

他に発言はないか。（「進行」と呼ぶ者あり）

ないので、以上で報告を終わる。

休憩する。

午後 5 時 17 分 休憩

午後 5 時 2 0 分 開議

○米山委員長 再開する。

次の委員会については、11月1日、視察先を高崎市、視察内容についてはバスナビゲーションシステムとしたいが、これに異議ないか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○米山委員長 異議ないので、そのように決した。

以上をもって、交通問題特別委員会を閉会する。

午後 5 時 2 1 分 閉会